

キラッと☆スマイル 八戸ナビ

～No.9 お菓子処丸美屋 主任 長谷川 紫穂 さん～

★ 現在のお仕事について

和菓子全般の製作を担当しています。この仕事に就いたきっかけは、自分が子どものころに祖父がお菓子屋を営んでいたため、お菓子屋の仕事を身近に感じながら、楽しそうだなと思いながら見て育ったことです。高校卒業後、現在の職場に就職しましたが、それまでお菓子作りについて学んだことはありませんでした。

この仕事に就いてから18年経った現在は、主任という立場で、製造工場内の仕事の段取りを組んだり、他の従業員への指示を出したりしています。



お菓子処丸美屋
主任

はせがわ しほ
長谷川 紫穂 さん

★ 仕事で心掛けていること

工場で働く従業員は7人。男女比は同じくらいです。年齢が幅広く、先輩に指示を出すこともあれば、入ったばかりの人には教えながら作業を行うこともあります。

他の従業員へ指示を出す際は、その人に合った声の掛け方をしよう心掛けています。例えば、自分を基準として仕事のスピードを考えるのではなく、それぞれのペースや特徴に合わせ、できる範囲での声掛け、指示出しを行っています。そのため、普段からそれぞれの方の性格や特徴をよく見ながら、どのような声の掛け方が良いのかを考えています。

★ ご家族について

夫、中学2年生の長男、5歳の次男の4人家族です。家族も丸美屋のお菓子が大好きで、家に持ち帰ると喜んでくれます。特に次男はどら焼きがお気に入り。朝出勤する時には「今日もたくさんどら焼き作ってきてね」と言ってくれます。

休日は家で過ごすことが多いですが、子どもたちとゆっくり過ごすことが一番の楽しみです。





仕事と子育ての両立について



夫が自営業で夕方からの勤務のため、朝の家事は比較的時間に余裕のある夫に任せています。私は朝の出勤時間が早く、とても助かっています。また、以前は残業もありましたが、現在は下の子の面倒を見る必要があるため、17時には退社できるよう職場にも配慮してもらっています。

産休・育休を取得しながら仕事を続けてきましたが、職場の皆さんの理解があったからこそ、現在も仕事ができていると思います。



仕事のやりがい

きれいにお菓子を作ることができた時はうれしくなりますし、やりがいを感じます。仕事を始めてから学んだお菓子作りですが、「自分に合っている仕事だ」と思っています。

また、家では夫婦で仕事の話をしてしています。夫の仕事の話もちろん聞きますが、自分も話すことで、嫌なことがあってもストレス解消になっていると思います。それだけではなく、私が仕事の話をする、聞き上手の夫は仕事ぶりを褒めてくれるので、「自分は結構すごい仕事をしているんだな」と実感できてうれしくなります。こういった夫婦間の会話も、仕事のやりがいにつながっています。

